



トレーサビリティと 品質管理

全製品(全工場・全ロット)の造粒サンプルは過去3年間保管し安定した品質を管理しています。
Hikariのフードはロット番号(賞味期限)から、各原料の仕入先、入荷日、さらにはバック資材の履歴まで特定可能となっています。



ISO22000
認証取得(全3工場)



〒670-0902 姫路市白銀町9番地 Tel.079(289)3739
URL : www.kyorin-net.co.jp

金魚の寿命は15年以上。

良質なフードは、健康寿命の鍵となります。
私たちは品質の安定した良質な金魚フードを外部委託や海外飼料の輸入に頼ることなく、日本国内自社工場で自分たちで生産することにこだわります。

原料へのこだわり

商品の袋を開けた瞬間の「匂い」が、健康へのシグナルです。
酸化した魚粉はツンとした独特の不快な匂いがします。金魚はあまり味の好き嫌いをしない魚ですが、酸化したフードでは長期的には金魚の成長不良や肝臓へのダメージ、免疫低下などの弊害が知られています。
Hikari のフードには良質な煮干しのように感じる香りがあります。それが最高グレードの魚粉を使用している証です。
魚粉は、収穫したイワシなどを蒸し、圧搾して脂を分離、乾燥粉砕し製造された文字通り魚の粉です。金魚にとって自分の体のアミノ酸組成に近いため、極めて消化吸収に優れたタンパク質源です。
魚粉は製造管理の仕方によって鮮度が変わりやすく、肥料用、スタンダード、プライム、スーパープライムと格付けがあり、Hikari のほとんどの製品において最高ランクの「スーパープライム」級を採用しています。
魚粉の買い付けには、書類上の数値だけではなくキョーリンフード工業のベテランの目利きにより「五感」で確認することも徹底しています。



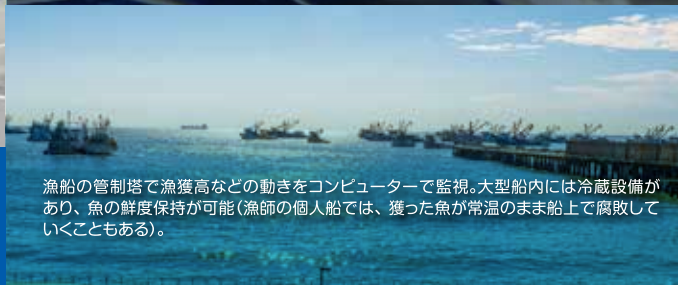
魚粉(スーパープライム)



世界的な産地である
ペルーの大手魚粉工場



巨大な乾燥機



漁船の管制塔で漁獲高などの動きをコンピューターで監視。大型船内には冷蔵設備があり、魚の鮮度保持が可能(漁師の個人船では、獲った魚が常温のまま船上で腐敗していくこともある)。

フィッシュミール(魚粉) は金魚の命

金魚養殖の技

■金魚養殖事業

Hikari の金魚フードが、日本国内だけでなく世界中の愛好家に選ばれているのには、大きな理由があります。それは、私たちが単なる飼料メーカーではなく、自ら金魚を育て、研究する飼育のプロ集団だからです。
当社(株)キョーリン、飼料の製造を担うキョーリンフード工業(株)、そして国内最大級の観賞魚卸である神畑養魚(株)。この3社が「カミハタ養魚グループ」として一体となり、理想の食を追求しています。



■鹿児島県の地熱が育む、 健康な金魚たち

グループの一翼を担う神畑養魚では、鹿児島県指宿市と南九州市にある広大な2箇所の養殖センターで金魚の養殖を行っています。ここでは温泉の豊かな地熱エネルギーを利用し、一年を通じて金魚にとって最適な環境を維持。日々、数多くの元気な金魚を全国のショップへ送り出しています。
私たちのフードづくりは、机の上の計算だけでは終わりません。養殖現場で、実際に金魚がどのように成長し、色がどう揚がるか、水質はどう変化するかを徹底的に観察します。現場のブリーダーが得た「より健康に、より美しく」というノウハウは、Hikari 飼料の配合設計にフィードバック。現場の知恵と科学的な検証、解析。その結晶が、Hikari の金魚フードなのです。



＼10年後も元気に／

知って得する! 金魚フード選び



ご自由にお持ち帰り
ください

2026.5月発行

Hikari 金魚フード比較表

浮上性

金魚が飼い主の姿を見て水面に寄ってくる「餌付け」の楽しみや、パクパクと食べる様子を観察したい方に。エサが長時間水面に浮き続けるため、食べ残しの回収も簡単です。砂利の隙間にエサが入り込むことはありません。



アイドル

モロヘイヤ・ケール配合、野菜入り健康食。

基本食



ベビーゴールド

ぶどうポリフェノールでストレスケア。色揚げ強化。

色揚げ用



プロリア

ひかり菌で水汚れ抑制。プレミアム育成フード。

育成用
プレミアム



プロリア色揚げ

プロリアをベースに強力な色揚げ効果をプラス。

色揚げ用
プレミアム



ミニペット胚芽

小麦胚芽高配合。低水温時や体調不良時の保健食。

保健用



らんちうディスク
良消化

小麦胚芽+梅エキス配合。消化能力が落ちる時期でも安心。

育成用



らんちうディスク
育成用

あらゆる金魚を健全に、効率よく育てる沈下性の新定番。

育成用



らんちうベビーゴールド

高栄養・高エネルギー食。肉増の発達と増体を追求。さらに抜群の色揚げ効果を兼ね備える。

育成&色揚げ用



らんちうベビーゴールド

高栄養・高エネルギー食。肉増の発達と増体を追求。さらに抜群の色揚げ効果を兼ね備える。

育成&色揚げ用

沈下性

金魚本来の水底にあるものを探して食べる習性に合致。砂利のない水槽では特に重宝し、水底に留まった粒を掃除機のような動作で吸い込めるため、口より小さな粒でも効率よく食べることができます。



脂質の重要性

脂質は最も効率の良いエネルギー源で、悪環境下でも体力の消耗を抑え、免疫力を維持します。またタンパク質がエネルギーとして消費されてしまうのを防ぎます。原料の魚粉は製造過程で脂質が分離されるため、適正な脂質の追加配合が重要となります。Hikari製品は低カロリータイプであっても良質な脂質を4%以上確保し、成長と健康のバランスを最適化しています。

低カロリー

低カロリー健康食

古来よりプロの養殖現場では穀類主体の「炊きえ」を1日中お腹いっぱい食べさせ、健やかな体型の金魚を育ててきました。消化に優しく、内臓に負担をかけないこの「低カロリー・飽食」の手法は、少量を1日に何度も与える育て方として見直されています。

高栄養

高栄養プレミアム

錦鯉飼料ブランド「咲ひかり」の配合をベースに金魚専用へと最適化。高栄養ながらひかり菌が水汚れを抑え、抜群の成長効率を実現。少量給餌でも金魚の成長の偏りを防ぎ、理想的な体型を維持します。エントリーモデルとは一線を画す、圧倒的な性能を誇るプレミアム金魚飼料です。

良消化

良消化保健食

内臓への負担を最小限に。小麦胚芽がメインの消化特化型フード。低水温でも高水温でも腸内で腐敗しにくく、消化不良が引き金となるリスクから金魚を守ります。

高栄養

高栄養タイプ

金魚品評会で多数の実績を誇る。蛋白質・脂質の最適化とバイオジェニックス(※)配合により、抜群の消化吸収をサポート。効率よく栄養が身に付くため、回数を多く与えることでランチュウや大型種を、美しく圧倒的に立派な風格へと育て上げたい方に最適な、最高峰の「体づくり」用飼料です。

(※) 特定の納豆菌、乳酸菌、酵母菌の混合発酵抽出物

性能へのこだわり

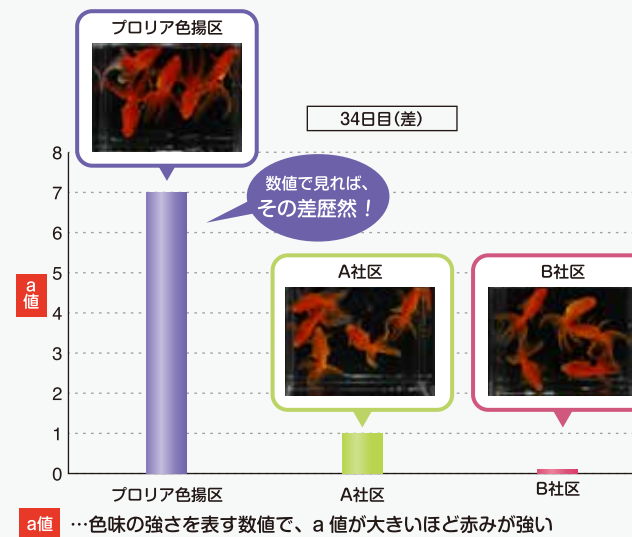
山崎研究所

理論を実証する終わりなき実験。研究所での膨大な飼育データが、すべての粒に反映されています。



色揚げ試験

対象品: ●プロリア色揚げ ●A社菌入り色揚げ飼料 ●B社菌入り色揚げ飼料

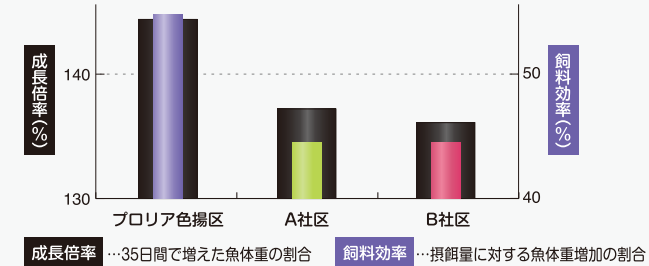


ひかり菌は「本当に」生きている！

菌が「入っている」とこと、「生きている」とことは違います。金魚飼料の原料である生菌剤は、加水や高温高圧の製造工程で簡単に死滅してしまうデリケートなものです。当社は2001年に独自の技術で「ひかり菌」を休眠状態で生きたままフードに配合することに成功しました。



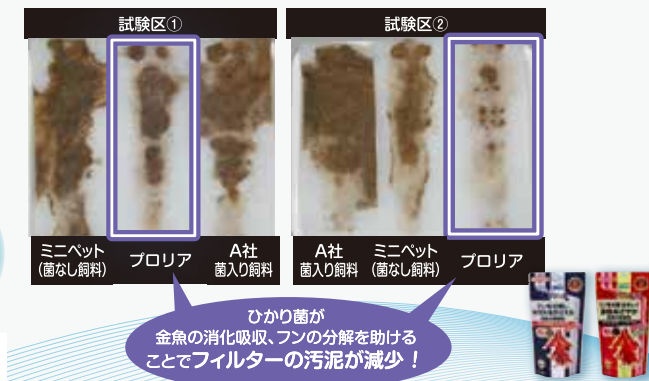
成長試験



飼料効率のよいエサは与える量を減らしてもバランスよく育ち、水が汚れません。

フィルター汚泥比較試験

対象品: ●プロリア ●ミニペット(菌なし飼料) ●A社菌入り飼料



ひかり菌が金魚の消化吸収、フンの分解を助けることでフィルターの汚泥が減少！

飼育に大切なお話

エサで「水槽のニオイ」をおさえる!?

水槽からニオイがするという状況は、飼育環境としてかなりマズい末期症状です。本来、ろ過(バクテリアによる浄化)がしっかり機能している水槽では、不快なニオイはほとんど発生しません。使用するエサの種類で変わるものではないのです。もしニオイが鼻につくようなら、すぐに半分から2/3の水を替える必要がある緊急事態といえます。

ニオイの正体は「腐敗菌」の仕業

その最大の原因は、食べ残したエサが腐敗することにあります。**腐敗菌(悪玉菌)**: 分単位で爆発的に増殖し、エサの残りを腐敗させ、嫌なニオイを発生させます。**ろ過バクテリア(善玉菌)**: 水をきれいにするバクテリア。増えるのが非常に遅く、定着するまでに約1か月もかかります。飼育初心者の方の多くは、この「ろ過バクテリア」が育つ前にエサを与えすぎてしまい、腐敗菌の増殖スピードに浄化が追いつかず、水がニオイ始めてしまうのです。

せっかくの「バクテリア」を捨てていませんか？

水替えの際、フィルターのマットが茶色く汚れているのを見て、「汚い!」と水道水でピカピカに洗ったり、新品に交換したりしていませんか?実は、その「茶色い汚れ」の中にこそ、水をきれいにする大切なバクテリアが棲み着いています。水道水(塩素)で洗うと、せっかく育ち始めたバクテリアが全滅してしまいます。「見た目が少し茶色いほうが、水はきれいになる!」——これはアクアリウムのすごく不思議で、とても大切な事実です。

フィルターの洗い方

目詰まりして水の通りが悪くなる前に、「水替えの際に捨てる古い飼育水」を使ってよくもみ洗いしましょう。これでバクテリアを殺さずに汚れだけを落とせます。定期的な水替えは必要ですが、フィルターは頻りに洗ってはいけません。

ひかり菌は、ろ過の味方

プロリアに含まれる生きた善玉菌「ひかり菌」は、金魚のお腹の中からフンと一緒に排出され、腐敗の原因となる汚れを元から分解します。分解された汚れは、ろ過バクテリアが処理しやすい状態になり、ろ過を助けます。

「ニオイがする」のはフードの種類で改善できるわけではなく、「ニオイが発生しない健全な環境を作る」ことこそが重要なのです。